

# BEEPonUSA

## MML 命令一覧

### 音符 C D E F G A B

それぞれ、ドレミファソラシの音符を表します。さらに + # - の記号を付けることで、半音上げ/下げることができます。続けて、音の長さ 1 2 4 8 16 32 を指定できます。1 が全音符で、4 は四分音符の意味です。省略時は、後述の L で指定した長さになります。数字の後ろにドット . を付けると、付点音符になります。

例: E+2. (ミ♯の付点二分音符)

### 休符 R P

休符を表します。音符と同様に休符の長さを指定できます。

### テンポ T

テンポを変更します。T140 のように記述します。初期値は 120 です。指定可能な範囲は 24~255 ですが、あまり正確ではありません。チャンネルに関わらず、グローバルに適用されます。

### 長さ L

音の長さのデフォルト値を設定します。L8 のように指定します。初期値は 4 です。指定可能な値は 1 2 4 8 16 32 です。音符の長さの数字に続けて、ドット . を付けることができます。

### オクターブ 0

オクターブを指定の高さに変更します。05 のように指定します。初期値は 4 です。指定可能な範囲は 2~9 です。

### 相対オクターブ < >

オクターブを現在の高さからひとつ変更します。> でひとつ上がり、< でひとつ下がります。

### レガート N

初期値は N0 で、音符と音符の間を少しあけて演奏します (32 分音符以外)。N1 にすると、音符と音符の間をあけずに演奏します。